平成２６年度
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総　　会

日　時：平成27年3月27日（金）13：00～14：30

会　場：愛媛大学城北キャンパス
　　総合情報メディアセンターメディアホール

主　催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

平成２６年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会次第

日　時：平成２７年3月２７日（金）１３：００～１４：３０

場　所：愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンターメディアホール

開　会

会長挨拶　柳澤　康信　学長（愛媛大学）

【議　題】

１．平成２６年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について
【資料 1】

２.平成２６年度事業収支及び会計監査について　【資料 2-1, 2-2】
（１）平成２６年度事業収支について
（２）平成２６年度会計監査について

３．役員の改選について　【資料 3-1, 3-2, 参考資料 1】

４．共同事業契約書の変更について　【資料 4-1～4-3, 参考資料 2, 3】
（１）共同事業契約書の変更合意について
（２）ＳＰＯＤ加盟校の退会について

５．平成２７年度事業計画について　【資料 5】

６．平成２７年度事業予算について　【資料 6-1, 6-2】

７．その他
（１）ＳＰＯＤ将来構想ワーキンググループまとめについて　【資料 7】
（２）ＳＰＯＤ事業評価委員会委員について　【資料 8】
（３）平成２６年度ＦＤ／ＳＤ活動の取組報告について　【資料 9】

８．意見交換

閉　会

平成２６年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会配付資料一覧

資料１	平成26年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について	P. 1
資料２－１	平成26年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書（案）	P. 9
資料２－２	平成26年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳（案）	P. 11
資料３－１	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（案）	P. 15
資料３－２	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」の役員の改選について（案）	P. 17
資料４－１	共同事業契約書の変更合意について	P. 19
資料４－２	SPOD加盟校の退会について	P. 21
資料４－３	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約　別表第1（第4条関係）の変更について	P. 23
資料５	平成27年度SPOD事業計画（案）	P. 25
資料６－１	平成27年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算（案）	P. 27
資料６－２	平成27年度共同事業契約における役割分担等について（案）	P. 31
資料７	SPOD将来構想ワーキンググループまとめについて	P. 35
資料8	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会委員名簿	P. 41
資料9	各加盟校におけるFD／SD活動の取組報告	P. 43

参考資料１	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク役員名簿　※議題3参考資料	P. 73
参考資料２	共同事業契約書　※議題4参考資料	P. 75
参考資料３	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約　※議題4参考資料	P. 81

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

平 成 26 年 度
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
事 業 総 括

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会
2015.3.27

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
企画・実施統括者　小林 直人
（愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 室長）

内　容

1. SPOD事業の概要
2. SPODの運営体制
3. 平成26年度事業の総括
　(1) 事業計画
　(2) 各事業の取組の成果
　(3) 事業評価
　(4) 総括

1. SPOD事業の概要

SPODは，四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより，域内のFD／SD事業の効率化，高度化，実質化を行うとともに，学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し，教育の質の保証を図ることを目的に平成20年10月に設立。

- 四国地区の全ての高等教育機関33校が加盟
- 地域ネットワークとして，FD・SD大学間連携のモデル
- 平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- 加盟校の教職員，全85プログラムに延べ2100名以上が参加

2. SPODの運営体制

SPOD役員名簿　※平成25年10月1日現在

会　　長	柳澤康信	愛媛大学長
副会長	香川　征	徳島大学長
副会長	長尾省吾	香川大学長
副会長	脇口　宏	高知大学長
監　　事	田中雄三	鳴門教育大学長
監　　事	南　裕子	高知県立大学長
企画・実施統括者	小林直人	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 室長

資料1

加盟校

【愛媛】12校
（大学⑤）
愛媛大学（国），愛媛県立医療技術大学（公），
聖カタリナ大学（私），松山大学（私），松山東雲女子大学（私）
（短期大学⑤）
今治明徳短期大学（私），環太平洋大学短期大学部（私）
松山東雲短期大学（私），松山短期大学（私），
聖カタリナ大学短期大学部（私）
（高等専門学校②）
新居浜工業高等専門学校（国），弓削商船高等専門学校（国）

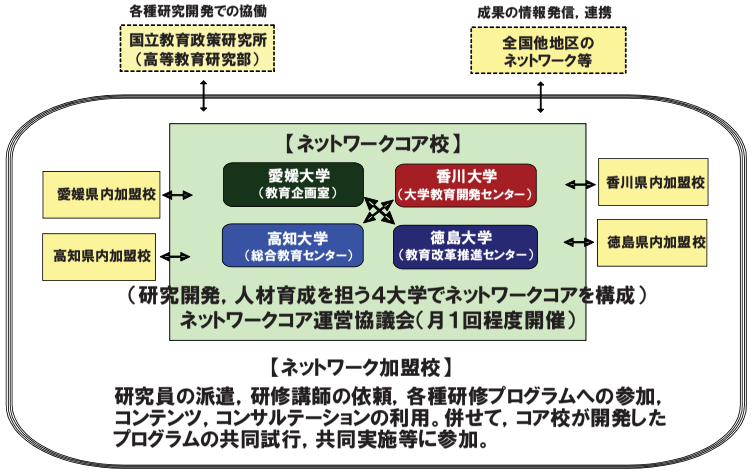
【香川】7校
（大学④）
香川大学（国），香川県立保健医療大学（公）
四国学院大学（私），高松大学（私）
（短期大学②）
香川短期大学（私），高松短期大学（私）
（高等専門学校①）
香川高等専門学校（国）

33校（四国地区の全高等教育機関が加盟）
大学16，短期大学12，高等専門学校5　（平成25年4月現在）

【高知】6校
（大学③）
高知大学（国），高知県立大学（公），
高知工科大学（公）
（短期大学②）
高知短期大学（公）
高知学園短期大学（私）
（高等専門学校①）
高知工業高等専門学校（国）

【徳島】8校
（大学④）
徳島大学（国），鳴門教育大学（国），
四国大学（私），徳島文理大学（私）
（短期大学③）
四国大学短期大学部（私），徳島工業短期大学（私），
徳島文理大学短期大学部（私）
（高等専門学校①）
阿南工業高等専門学校（国）

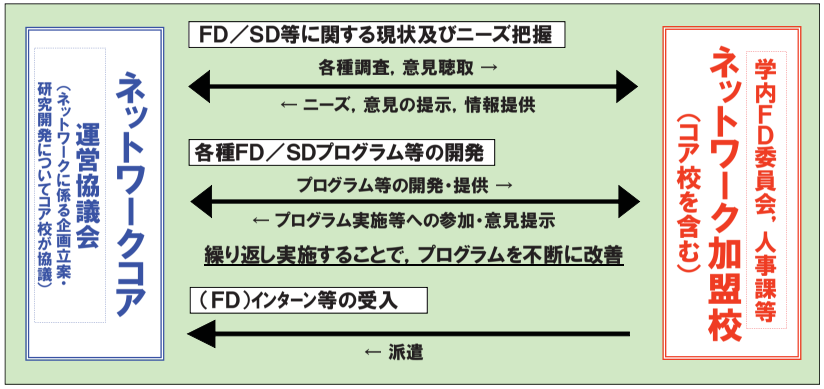
ネットワーク体制



【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

【 連携内容 】

（ネットワークコア，加盟校間での連携）



3．平成26年度事業の総括

（１）事業計画

（計画内容）

1. FD事業
   - 新任教員研修
   - ティーチング・ポートフォリオ作成・更新ワークショップの実施
   - アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップの実施　　など
2. SD事業
   - 職員のための講師養成講座，次世代リーダー養成ゼミナールなどの実施
   - 大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施
   - 専門職養成プログラム（学務系，国際連携など）の開発・実施
   - スタッフポートフォリオ（職員業績記録）の開発　など
3. SPODフォーラム
4. SPOD共通事業
   - SPOD内講師派遣
   - 調査・研究プロジェクト事業
   - SPOD将来構想ワーキンググループ　など
5. SPOD運営

（２）各事業の取組の成果

①新任教員研修の開発・実施
②教育業績記録（ティーチング・ポートフォリオ：TP）の開発
③階層別，専門職養成プログラムの実施
④次世代リーダー養成ゼミナールの実施
⑤職員のための講師養成講座の実施
⑥SPOD－SDCの認定
⑦SPODフォーラムの実施
⑧SPOD内講師派遣プログラムの実施
⑨SPOD将来構想ワーキンググループ
⑩調査研究プロジェクト事業
⑪ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議
⑫広報活動

①新任教員研修の開発・実施

■新任教員研修
目的：授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し，授業実践のために必要な能力を身につける
実績：ネットワークコア校（愛媛大学，徳島大学，香川大学，高知大学）主催で計5回開催し，開催校を除く加盟校13校から83名が参加。
事後アンケート：参加者の98％から「満足」という回答。

日　程	プログラム名	開催大学	受講者数	参加校数（開催校以外）	満足度％
6月28日（土）～29日（日）	授業設計ワークショップ	徳島大学	31	4	93
7月5日（土）～6日（日）	第22回授業デザインワークショップ	愛媛大学	14		100
9月1日（月）～2日（火）	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	5	2	100
9月1日（月）～3日（水）	第23回授業デザインワークショップ	愛媛大学	19	3	100
9月18日（木）～19日（金）	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	14	4	100
合　計			83	13	

●受講者は，ネットワークコア校内で標準化されたプログラムを受講し，授業設計，シラバスの作成方法についてグループワーク形式で学び，プログラム最終日には模擬授業を行った。

●受講者からの声
「学生に受け入れられる授業を行うための　ベーシックなノウハウを短時間で理解できた」
「これまでに実施していた授業の内容を見直す機会となった」

②教育業績記録（ティーチング・ポートフォリオ：TP）の開発

■ TP作成ワークショップ
メンターの養成を目的に3回実施

①西四国（愛媛・高知）FD担当者対象
【会場】愛媛大学 愛大ミューズ
②東四国（徳島・香川）FD担当者対象
【会場】徳島大学 常三島キャンパス
③高等専門学校教員対象
【会場】愛媛大学 愛大ミューズ

※①については，アカデミック・ポートフォリオ（AP）作成ワークショップも同時開催

■ TP更新ワークショップ
TPを更新し，自らを振り返ることを目的に1回実施

①平成26年7月7日（月）
【会場】愛媛大学 愛大ミューズ

③階層別，専門職養成プログラムの開発・実施

階層別プログラムの実施

■大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ~Ⅲ，共通)（参加者203名）

日　程	プログラム名	対象者 内　容	受講者数	参加校数
5月14日(水)～16日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ) 第1回【新任職員研修】(徳島大学))	採用1年以内の新任職員 コミュニケーション，ビジネスマナー入門等	74	9
10月23日(木)～24日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ) 第2回(愛媛大学)	係員相当級職員 リーダーシップ入門，タイムマネジメント論等	54	9
10月9日(木)～10日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ) (愛媛大学)	係長，主任相当級 コミュニケーション，プレゼンテーション実践等	23	4
7月3日(木)～4日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ) (愛媛大学)	課長，補佐相当級職員 人材育成論・実践論，大学政策論等	24	7
9月11日(木)～12日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(共通科目) (愛媛大学)	情報科学応用編「Access」基礎受講済職員 情報科学応用編「Access」応用	28	4

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回【新任職員研修】(徳島大学)

専門職養成プログラムの開発・実施

■国際連携系職員養成プログラム(レベルⅡ)（参加者22名）

※昨年度開発ワークショップを開催

【日時】平成26年8月28日(木)　※SPODフォーラム2014期間中

【内容】留学生受入実践

■学務系職員養成プログラム(レベルⅠ)（参加者39名）

【日時】平成26年7月24日(木)～25日(金)

【内容】キャリア支援入門，学生相談入門，学生危機管理対応入門，FD概論，教務担当職員のためのSD入門

④次世代リーダー養成ゼミナールの実施

実　績：計19名で4回(2年間で8回)のプログラムを実施

受講者：4期生10名，5期生9名

内　容：高等教育に関する第一人者の講義を受け，多数の課題をクリアしながら，次世代のリーダーとして，大学等の運営を担うために必要な技能，知識，態度を身につけることを目指した。最終回には受講者に修了プロジェクト発表，論文の提出，及び口頭試問を課し，修了判定を実施。

※第4期生8名，第3期生1名が修了→今年度を含め，33名の修了生

■ 次世代リーダー養成ゼミナール(計4回)

①第1回　H26．5．22～24　【会場】愛媛大学
　【講師】諸星裕(桜美林大学)，山本眞一(桜美林大学)ほか
②第2回　H26．7．17～19　【会場】徳島大学
　【講師】石渡尊子(桜美林大学)ほか
③第3回　H26．11．6～8　【会場】愛媛大学
　【講師】秦敬治(追手門学院大学)ほか
④第4回　H27．1．22～23　【会場】香川大学
　【講師】秦敬治(追手門学院大学)ほか

⑤職員のための講師養成講座の実施

【目　的】研修プログラムの講師ができる職員の育成
【成　果】過去の受講者は実際に，「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)」等の講師を務めた。
【日　時】平成26年6月12日(木)～13日(金)
【会　場】愛媛大学　　【参加者】13名

アンケート結果回答者全員が「満足」と回答

受講者からのコメント
●モチベーションが高い人たちが集まっていたので，どんどん吸収していこうとお互いに刺激ができた。
●ビデオ撮影を通して自分の弱点を明らかにすることができた。

⑥SPOD－SDCの認定(SDの実践的指導者)

平成26年度，新規に4名の教職員を認定

【認定審査対象者】4名
仲道　雅輝　愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／講師
清水　栄子　愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／助教
丸山　智子　愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／特任助教
秋谷　恵子　愛媛大学総務部人事課／課長

※「SPODにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定基準」に基づき，第7回ネットワークコア運営協議会（平成26年11月19日開催)で審議・認定

今年度を含め，これまでに12名のSPOD－SDCを認定
来年度以降各加盟校からのSPOD－SDC輩出を目指す。

SPOD－スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定基準
1. SPOD－SD(又は自大学におけるSD)講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

SPOD-SDC資格認定授与式
（平成27年1月20日　愛媛大学）

⑦ SPODフォーラムの実施

・スキルアップにつながる実践的なプログラムを集中的に提供
・大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なFD／SDプログラム及び組織を超えた意義ある相互交流・関係づくりの場を提供。

■ SPODフォーラム2014
【日時】平成26年8月27日(水)～29日(金)
【会場】高知大学朝倉キャンパス
【テーマ】「"気づき"と"振り返り"が大学を変える
　～成長を確かなものにするために～」
【参加者】436名(延べ1,295名) ※うちSPOD外：178名
【プログラム数】32プログラム
【アンケート結果】 回答者の約97％が「満足」と回答。
○新規プログラム
・経験から学ぶ力を育てる－成長を促す振り返りとは？－
・大学版反転授業：TBLの手法－問題を作ってみよう－
・部下・若手職員の育成－自ら学び成長する－　　など

大学版反転授業：TBLの手法－問題を作ってみよう－

★SPODフォーラム2015は愛媛大学で開催★
【全体テーマ】「学びの成果をどう可視化するか？」
【日時】H27.8.26～8.28 【会場】愛媛大学城北キャンパス

⑧SPOD内講師派遣プログラムの実施

加盟校がSPODに加盟するメリットとして，加盟校単位で希望するプログラムを，SPODから研修講師を年1回無料で派遣。
※平成26年度はコア校の講師14名を24機関に派遣。

■平成26年度SPOD内講師派遣実績
【派遣機関】24機関　【派遣講師】14名
【受講者数】690名(うち学外67名 ＊遠隔を含む)
※派遣した全機関から本事業の継続希望があった。

小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン
～考え方と進め方～
（平成26年7月29日　高知工業高等専門学校）

【本事業実施による成果】
・シラバスづくり、授業運営等において、各教員の目的意識が向上し、教育の質的向上が顕著にみられる。
・今年度は、講師派遣事業を本学の初任者研修として行った。初めて大学生に接することとなる教員にはとてもためになったのではないか。
・規模の小さな本校にとっては外部講師によるFD/SD活動は大変重要な役割を果たしている。

⑧SPOD内講師派遣プログラムの実施

日程	プログラム名	主催校	対象	講師担当校	講師	全受講者数	うち学外参加者数（うち遠隔受講者）
4月							
4月25日（金）	クラスルームコントロール	徳島工業短期大学	FD	愛媛大学	[illegible]	17	0
6月							
6月5日（木）	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	弓削商船高等専門学校	FD	阿南高専	平井	22	－
6月10日（火）	職員が輝くSDの実践事例	高知大学	SD	愛媛大学	阿部	16	0
6月10日（火）	事例から見た，学生・保護者から信頼される高専教育	新居浜工業高等専門学校	FD	阿南高専	平井	30	0
6月19日（木）	基礎から学ぶ学習評価法	松山大学・松山短期大学	FD	愛媛大学	山田	32	4
6月26日（木）	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	徳島大学	SD	愛媛大学	仲道	59	29
7月							
7月22日（火）	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ～考え方と進め方～	愛媛県立医療技術大学	FD	高知大学	俵町	24	0
7月29日（火）	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ～考え方と進め方～	高知工業高等専門学校	FD	高知大学	俵町	22	[illegible]
8月							
8月19日（火）	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	香川県立保健医療大学	FD	香川大学	岩中	33	0
9月							
9月3日（水）	大学職員のための企画力養成講座	高松大学・高松短期大学	SD	愛媛大学	阿部	23	0
9月9日（火）	マインドマップ入門講座	高知学園短期大学	FD SD	高知大学	俵町	46	3
9月11日（木）	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	FD	香川大学	岩中	45	[illegible]
9月12日（金）	判断力・決断力養成講座	香川短期大学	SD	愛媛大学	仲道	19	－
9月17日（水）	学生の学びを促すシラバスの書き方	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	FD	香川大学	高坂	25	0
9月18日（木）	事例から見た，学生・保護者から信頼される高専教育	香川高等専門学校	FD	阿南高専	平井	26	0
9月24日（水）	教職員のためのPowerPoint～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	高知工科大学	FD SD	高知大学	立川	15	0
9月25日（木）	ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～	今治明徳短期大学	FD	愛媛大学	清水	16	[illegible]
9月25日（木）	学生の自立を促す学生支援のコツ	四国大学・四国大学短期大学部	FD SD	徳島大学	吉田	38	[illegible]
9月26日（金）	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	愛媛大学	FD	香川大学	岩中	9	3
9月26日（金）	教えないで成績を上げるTBL（チーム基盤型学習）という授業方法	香川大学	FD	高知大学	立川	10	0
9月26日（金）	大人数講義を魅力的にするテクニック	高知県立大学・高知短期大学高知大学	FD	徳島大学	川野	39	0
9月29日（月）	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	環太平洋大学短期大学部	FD	高知大学	遠藤	18	－
10月							
10月29日（水）	学生の学びを促すシラバスの書き方	鳴門教育大学	FD	高知大学	立川	58	0
12月							
12月2日（火）	教えないで成績を上げるTBL（チーム基盤型学習）という授業方法	阿南工業高等専門学校	FD	高知大学	立川	49	0

⑨SPOD将来構想ワーキンググループ

【本事業の目的】 SPODの今後の取組，目的等将来構想に関する事項について検討する。

【実施状況】
平成26年度第1回　日時：平成26年6月24日(火)　場所：愛媛大学
　議題：SPODの今後の運営について
平成26年度第2回　日時：平成26年10月29日(水)　場所：愛媛大学
　議題：SPOD将来構想について，SPOD取組(講師派遣，フォーラム等)の見直しについて
平成26年度第3回　日時：平成27年1月21日～2月4日　書面審議(メール)
　議題：SPOD将来構想ワーキングまとめ(案)について

【検討状況】
●WGで出された主な意見
・FD事業については，各コア校で想定されるFDセンターの事業見直しを踏まえ，事業を精選する必要がある
・SD事業については，10年目に向けマップの見直し及びプログラム構成等についての見直しを図る必要がある　など
●次年度以降，各加盟校を対象に訪問調査を実施予定
●訪問調査の結果も踏まえ今後のSPODの目的について引き続き検討

⑩調査・研究プロジェクト事業

【本事業の目的】SPODでの連携効果，組織変容等を調査・検証する
（FD部門）
①連携効果検証ワーキンググループ
②組織変容検証ワーキンググループ
③学生調査・IRワーキンググループ（FD部門）
（SD部門）
④連携効果・組織変容検証プロジェクトチーム

【実施状況】
（FD部門①，②，③）
今年度は①を中心に活動。昨年度実施した新任教員研修受講者へのアンケート検証結果についてリーフレットを作成し全国高等教育機関に発信するとともに，研究集会で発表予定。
次年度については②を中心に活動予定。③については引き続き検討中。
（SD部門④）
次世代リーダー養成ゼミナール受講者の所属機関人事担当者等にインタビューを実施し，その結果を踏まえ次年度以降のプログラム改善を検討。
また，職員のための講師養成講座受講者へのアンケートを実施し，その検証結果を学会等で発表。

⑩調査・研究プロジェクト事業

■連携効果検証ワーキンググループ（FD部門）

第２１回大学教育研究フォーラムおいて事例発表（予定）
日　時：平成２７年３月１３日　，場　所：京都大学
タイトル：「ＳＰＯＤにおいて標準化された新任教員研修の成果と課題」

●授業設計の基本である「様々な授業方法」「シラバスの書き方」が役に立ったと回答した受講者は８０％超
●研修後に教育力向上のための活動への参加が継続していない教員が多く，個人レベルの取組みだけでなく，組織的な取組みの必要性が推察できる。

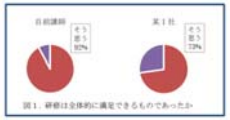
⑩調査・研究プロジェクト事業

■連携効果・組織変容検証プロジェクトチーム（SD部門）

次世代リーダー養成ゼミナールに関する訪問調査
日　時：平成26年12月
対　象：次世代養成ゼミナール受講生（修了生含む）の所属する機関の大学経営陣，人事担当者，上司等
内容等：プログラムの評価，受講者決定方法，受講終了後のインセンティブの付与等について

インタビュー結果を踏まえ次年度以降のカリキュラム・プログラムを整理。

職員のための講師養成講座受講者事後アンケート分析
第１８回大学行政管理学会研究集会において事例発表
日　時：平成２６年９月７日　，場　所：東北学院大学
タイトル：「大学間ＳＤを活用した講師養成プログラムの開発と実践」～SPOD−SDの事例から～



●講師としての知識のほか，傾聴力等，職員の総合的な能力開発を行うためにも有効であることが判明
●本講座の講師を外部委託していた際よりも，ＳＰＯＤ加盟校教職員が講師を務めた方が評価は高い

⑪ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議

・ネットワークコア校が月１回程度，事業の実施，運営上の諸課題等について協議。
・ネットワークコア校は，ネットワークコア運営協議会の報告や各県内の加盟校のニーズ聴取を目的とした県内加盟校会議を開催。

【平成26年度開催実績】

■ ネットワークコア運営協議会：10回開催
8回：遠隔講義システム
2回：愛媛大学開催

■ 県内加盟校会議
徳島県内加盟校会議1回
愛媛県内加盟校会議1回

⑫広報活動

SPODの成果は，全国的にも注目されており，大学教育学会や大学行政管理学会などの各種学会をはじめ，全国会議や広報誌でもSPODの取組を紹介するなど，広く情報提供・発信を行っている。また，四国地区以外の大学等からも取組事例の発表依頼も多くある。さらに，利用者が閲覧しやすいようにSPODホームページの改修を行った。

（１）各種学会等での事例発表実績

■第２１回大学教育研究フォーラムおいて事例発表（予定）
日　時：平成２７年３月１３日　，場　所：京都大学
タイトル：「ＳＰＯＤにおいて標準化された新任教員研修の成果と課題」
発 表 者：吉田 博，宮田政徳，上岡麻衣子（徳島大学），山田剛史（愛媛大学）

■第１８回大学行政管理学会研究集会において事例発表
日　時：平成２６年９月７日　，場　所：東北学院大学
タイトル：「大学間ＳＤを活用した講師養成プログラムの開発と実践」
～ＳＰＯＤ－ＳＤの事例から～
発 表 者：阿部光伸，丸山智子，上甲巧治（愛媛大学）

⑫広報活動

（２）SPODホームページの改修

主な改修箇所

■SPODフォーラム資料掲載ページへのリンク
SPODフォーラム概要ページに，SPODフォーラムの紹介映像を掲載し，フォーラムに参加したことがない方に対して，フォーラムの様子をよりわかりやすく紹介した。

■SPODホームページカウンタ機能
利用状況を把握するため，SPODホームページにカウンタ機能を追加（平成25年度から）

トップページ閲覧数：75,681件
PDF資料等ダウンロード数：7,809件
※H26.4.1～H27.3.16現在

参考：平成25年度（H25.8.1～H26.3.31）
トップページ閲覧数：42,906件，PDF資料等ダウンロード数：1,640件

SPODフォーラム概要ページ

7

（３）事業評価

■SPOD事業評価委員会

外部有識者５名の委員が，SPODが作成した活動報告書をもとに事業評価。その評価結果をもとに事業を改善。

【開催日】平成27年3月5日（木）
【開催場所】愛媛大学　愛大ミューズ3階会議室

【委員会委員（平成26年度）】

沖　裕貴	立命館大学教育開発推進機構教育開発支援センター長　教授
各務　正	順天堂大学総務局企画調査室　部長
栗田　佳代子	東京大学大学総合教育研究センター　特任准教授
田中　岳	九州大学基幹教育院教育企画開発部　准教授
福島　一政	追手門学院大学　副学長

（敬称略　五十音順）

【平成26年度SPOD事業評価委員からのコメント】

1．全体的な本事業へのコメント

- 様々な設置形態の加盟校が参加しているＳＰＯＤ事業を継続して行っていることが評価できる。
- 将来構想検討ＷＧが動き出したことは重要である。

2．指摘事項・今後の提案事項

- 将来構想検討WGについて，コア校以外の大学・高専等の意見を聞くことも大切ではないか？
- 評価を行う仕組みを考えるべきではないか？そのためにSPODの目的を再検討するとともに，各事業の到達目標に対する指標を設定し，その検証結果・成果を発信してはどうか？

（４）総括

計画どおり順調に進展

（課題）
- 今後のSPODの目的，SPOD運営について
- 各種事業内容の見直しについて
- 各加盟校との連携について
- 各研修プログラムにおける到達目標達成度指標の作成・検証　　など

→ 各加盟校訪問調査を実施するとともに，引き続き「SPOD将来構想ワーキンググループ」等で議論

※加盟校担当者にも参加をお願いし，議論を進める予定ですのでご協力よろしくお願いします。

加盟校の連携により，様々な成果を上げることができました。

御礼申し上げます。

平成27年度も引き続き，SPOD事業に対して，ご協力をよろしくお願いいたします。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（案）

平成２７年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（以下「ＳＰＯＤ」という。）の運営にあたって，ＳＰＯＤ規約に基づき，会長等の役員の選出を行う。監事については，「コア校以外の加盟校」から２名（任期２年）を選出することとしているため，以下の選出方法により実施する。

（１）選出基準

以下①と②を組み合わせて選出する。

①設置形態のバランスを考慮し，~~国立、公立、~~コア校を除く国立又は公立（A），私立（B），高専（C）から２名を選出する。４年間でA～C全ての設置形態から選出されるようにする。

②地域バランスを配慮し，２名を選出する。４年間で全ての県から選出されるようにする。

（２）監事の選出方法

ネットワークコア運営協議会で検討し，推薦する。

（ネットワークコア運営協議会での審議結果）

（１）監事選出基準について

平成 27 年 1 月 21 日（水）開催のネットワークコア運営協議会において検討を行った。前回監事選出（平成 25 年 3 月 29 日総会）時，選出基準①については，国立，公立，私立，高専から２名を選出し，４年（２期）で全ての設置形態から選出されることとなっていたが，「国立」については，コア校を除く該当校が１校（鳴門教育大学）のみであるため，設置形態のバランスを考慮し，新たな選出基準①ついて，平成 27 年 3 月 27 日（金）開催のネットワーク総会の議を経て決定することを確認した。

（２）監事の推薦について

平成 27 年 1 月 21 日（水）開催のネットワークコア運営協議会において検討を行った。３期目（平成 27 年度～28 年度）の監事については，選出基準①より，私立及び国公立，②より香川県及び愛媛県から選出することになり，本協議会での審議の結果，高松大学長（香川県・私立・四年制と短大が併設）及び愛媛県立医療技術大学長（愛媛県・国公立）を推薦することとなった。なお，次期監事については，平成 27 年 3 月 27 日（金）開催のネットワーク総会の議を経て決定することを確認した。

※1 期目　松山東雲女子大学・短期大学（愛媛県・私立・4 年制と短大が併設），香川高等専門学校（香川県・高専）

2 期目　鳴門教育大学（徳島県・国立），高知県立大学（高知県・公立）

【参考１】「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（抄）（H25. 3. 29 総会時）

（１）選出基準

以下①と②を組み合わせて選出する。

①設置形態のバランスを考慮し，国立，公立，私立，高専から２名を選出する。４年間で全ての設置形態から選出されるようにする。

②地域バランスを配慮し，２名を選出する。４年間で全ての県から選出されるようにする。

【参考２】「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第８条　ＳＰＯＤに、会長（１名）、副会長（３名）、監事（２名）及び企画・実施統括者（１名）を置く。

２　会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

３　副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

４　監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

５　会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。

６　会長は、ＳＰＯＤを代表する。

７　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

８　監事は、会計を監査する。

９　企画・実施統括者は、ＳＰＯＤ活動に係る企画及び実施を統括する。

１０　補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」の役員の改選について（案）

平成２７年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の実施にあたって、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（以下「規約」という。）第８条第５項に基づく、平成２６年度末での役員の任期満了に伴い，以下１～５の改選を行う。なお、コア校は、規約別表２のとおり、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学を指している。

１．代表校／事務局（規約第７条及び第１２条関係）
　　愛媛大学
２．会長（規約第８条第１項、第２項、第５項及び第６項関係）
　　愛媛大学　大橋　裕一　学長（平成 27 年 4 月 1 日～）
３．副会長（規約第８条第１項、第３項、第５項及び第７項関係）
　　徳島大学　香川　　征　学長
　　香川大学　長尾　省吾　学長
　　高知大学　脇口　　宏　学長
４．監事（規約第８条第１項、第４項、第５項及び第８項関係）
　　高松大学・高松短期大学　佃　昌道　学長
　　愛媛県立医療技術大学　橋本　公二　学長
５．企画・実施統括者（規約第８条第１項、第２項、第５項及び第６項関係）
　　愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室　小林　直人　室長

【参考】「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）
（代表校）
第７条　コア校のうち、１校をＳＰＯＤの代表校とする。
２　代表校は、コア校の互選により選出する。
３　代表校の任期は２年とし、再任を妨げない。
（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）
第８条　ＳＰＯＤに、会長（１名）、副会長（３名）、監事（２名）及び企画・実施統括者（１名）を置く。
２　会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。
３　副会長は、代表校を除くコア校から選出する。
４　監事は、コア校を除く加盟校から選出する。
５　会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。
６　会長は、ＳＰＯＤを代表する。
７　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
８　監事は、会計を監査する。
９　企画・実施統括者は、ＳＰＯＤ活動に係る企画及び実施を統括する。
１０　補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。
（事務局）
第１２条　ＳＰＯＤの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

共同事業契約書の変更合意について

平成２７年３月２７日
ネットワーク総会決定

平成２４年４月１日付けで締結した共同事業契約書は，平成２７年４月１日付けで公立大学法人高知工科大学（高知工科大学）が高知県公立大学法人に統合され，四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第４条第３項に基づき平成２７年３月３１日付けで学校法人四国学院（四国学院大学）が四国地区大学教職員能力開発ネットワークを退会するため，平成２７年４月１日付けで下記のとおり変更するものとする。

記

変更前	変更後
国立大学法人愛媛大学（愛媛大学）（以下「甲」という。）と国立大学法人徳島大学（徳島大学），国立大学法人香川大学（香川大学），国立大学法人高知大学（高知大学），国立大学法人鳴門教育大学（鳴門教育大学），香川県(香川県立保健医療大学)，公立大学法人愛媛県立医療技術大学，高知県公立大学法人（高知県立大学及び高知短期大学），公立大学法人高知工科大学（高知工科大学），学校法人四国大学（四国大学及び四国大学短期大学部），学校法人村崎学園(徳島文理大学及び徳島文理大学短期大学部)，学校法人四国学院(四国学院大学)，学校法人四国高松学園(高松大学及び高松短期大学)，学校法人聖カタリナ学園（聖カタリナ大学及び聖カタリナ大学短期大学部），学校法人松山大学（松山大学及び松山短期大学），学校法人松山東雲学園（松山東雲女子大学及び松山東雲短期大学），学校法人徳島城南学園(徳島工業短期大学)，学校法人尽誠学園(香川短期大学)，学校法人今治明徳学園（今治明徳短期大学），学校法人創志学園（環太平洋大学短期大学部），学校法人高知学園（高知学園短期大学），独立行政法人国立高等専門学校機構（阿南工業高等専門学校），独立行政法人国立高等専門学校機構（香川高等専門学校），独立行政法人国立高等専門学校機構（新居浜工業高等専門学校），独立行政法人国立高等専門学校機構（弓削商船高等専門学校），独立行政法人国立高等専門学校機構（高知工業高等専門学校）（以下合わせて「乙」という。）は，次の各条によって共同事業契約（以下「本契約」という。）を締結するものとする。	国立大学法人愛媛大学（愛媛大学）（以下「甲」という。）と国立大学法人徳島大学（徳島大学），国立大学法人香川大学（香川大学），国立大学法人高知大学（高知大学），国立大学法人鳴門教育大学（鳴門教育大学），香川県(香川県立保健医療大学)，公立大学法人愛媛県立医療技術大学，高知県公立大学法人（高知県立大学，高知短期大学及び高知工科大学），学校法人四国大学（四国大学及び四国大学短期大学部），学校法人村崎学園(徳島文理大学及び徳島文理大学短期大学部)，学校法人四国高松学園(高松大学及び高松短期大学)，学校法人聖カタリナ学園（聖カタリナ大学及び聖カタリナ大学短期大学部），学校法人松山大学（松山大学及び松山短期大学），学校法人松山東雲学園（松山東雲女子大学及び松山東雲短期大学），学校法人徳島城南学園(徳島工業短期大学)，学校法人尽誠学園(香川短期大学)，学校法人今治明徳学園（今治明徳短期大学），学校法人創志学園（環太平洋大学短期大学部），学校法人高知学園（高知学園短期大学），独立行政法人国立高等専門学校機構（阿南工業高等専門学校），独立行政法人国立高等専門学校機構（香川高等専門学校），独立行政法人国立高等専門学校機構（新居浜工業高等専門学校），独立行政法人国立高等専門学校機構（弓削商船高等専門学校），独立行政法人国立高等専門学校機構（高知工業高等専門学校）（以下合わせて「乙」という。）は，次の各条によって共同事業契約（以下「本契約」という。）を締結するものとする。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の退会について

大　学　名	退会予定日	退会届の提出日	会長承認日
四国学院大学	平成２７年3月３１日	平成２６年１２月４日	平成２６年１２月１１日

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（抄）

（加盟校）

第４条　ＳＰＯＤは、別表第１に定める加盟校をもって構成する。

２　四国地区の大学等で、ＳＰＯＤの目的及び事業に賛同するものは、新たにＳＰＯＤ加盟校となることができる。ただし、その大学等の所在する県のコア校の承認を得なければならない。

３　ＳＰＯＤを退会する場合には、会長の承認を得なければならない。ただし、原則として退会する３ヶ月前までに会長に申し出るものとする。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約　別表第1（第4条関係）の変更について

平成~~25~~27年4月1日現在

別表第1　加盟校

徳島大学
鳴門教育大学
香川大学
愛媛大学
高知大学
香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学
高知県立大学
高知工科大学
四国大学
徳島文理大学
~~四国学院大学~~
高松大学
聖カタリナ大学
松山大学
松山東雲女子大学
高知短期大学
四国大学短期大学部
徳島工業短期大学
徳島文理大学短期大学部
香川短期大学
高松短期大学
今治明徳短期大学
環太平洋大学短期大学部
聖カタリナ大学短期大学部
松山東雲短期大学
松山短期大学
高知学園短期大学
阿南工業高等専門学校
香川高等専門学校
新居浜工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校
高知工業高等専門学校

別表第2　コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約(抄)
(加盟校)
第4条　SPODは、別表第1に定める加盟校をもって構成する。
2　四国地区の大学等で、SPODの目的及び事業に賛同するものは、新たにSPOD加盟校となることができる。ただし、その大学等の所在する県のコア校の承認を得なければならない。
3　SPODを退会する場合には、会長の承認を得なければならない。ただし、原則として退会する3ヶ月前までに会長に申し出るものとする。
附　則
1　この規約は、平成20年10月18日から施行する。
2　この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。
3　別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

平成２７年度ＳＰＯＤ事業計画（案）

１．ＦＤ事業

・新規採用教員研修（年５回）　開催場所：各コア校（愛媛大学は２回実施）

・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（年２回）

①全加盟校教員対象（年１回）

開催場所：徳島大学

②高専対象（年１回）　開催場所：愛媛大学

・ティーチング・ポートフォリオ，アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ　※

開催場所：愛媛大学

・各種ＦＤプログラムの開発・実施　開催場所：各加盟校

研修プログラムガイド２０１５に掲載したプログラム

２．ＳＤ事業

・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年５回）

開催場所：香川大学，愛媛大学

レベルⅠ（新任職員研修）

１回　　５月中旬（香川大学）

レベルⅠ　１回　１１月中旬（愛媛大学）

レベルⅡ　１回　１０月中旬（愛媛大学）

共通科目　１回　９月上旬（愛媛大学）

主担当：ＳＰＯＤ事務局　協力校：香川大学，愛媛大学

・国際連携系職員養成研修（年１回）　開催場所：愛媛大学

・社会連携系職員養成研修（年１回）　開催場所：愛媛大学

ＳＰＯＤフォーラム２０１５において開催

主担当：ＳＰＯＤ事務局　協力校：愛媛大学

・次世代リーダー養成ゼミナール（年４回）

開催場所：高知県，愛媛県，徳島県

第１回　５月下旬　徳島

第２回　７月中旬　　愛媛

第３回　１１月上旬　高知

第４回　平成２８年１月下旬　愛媛

主担当：ＳＰＯＤ事務局　協力校：高知大学

・職員のための講師養成講座（年２回）開催場所：愛媛大学２回

平成２７年６月中旬・１２月中旬

主担当校：ＳＰＯＤ事務局　協力校：愛媛大学

・各種ＳＤプログラムの開発・実施　　開催場所：各加盟校

研修プログラムガイド２０１５に掲載したプログラム

・スタッフ・ポートフォリオの作成ワークショップ　※

３．ＳＰＯＤフォーラム

・平成２７年８月２６（水）～２８日（金）（３日間）　開催場所：愛媛大学
「学びの成果をどう可視化するか？」
トップリーダーセミナーを併せて開催
教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）と共催

４．ＳＰＯＤ共通事業

・ＳＰＯＤ内講師派遣（加盟校単位　各１回　計２４回）　開催場所：各加盟校
原則として，１法人あたり１回とする。ただし，高等専門学校については，１校あたり１回とする。詳細は，ＳＰＯＤホームページに掲載

・ＳＰＯＤ将来構想ワーキンググループ
調査研究プロジェクト事業と連携して訪問調査を実施予定

・調査研究プロジェクト事業
年１テーマを研究対象とする予定
①連携効果・組織変容検証プロジェクト（ＦＤ部門）
②連携効果・組織変容検証プロジェクト（ＳＤ部門）

・その他コア運営協議会で承認された事業，プログラム等

５．ＳＰＯＤ運営

①総会（年１回）　平成２８年３月頃
②ネットワークコア運営協議会（月１回程度）
③事業評価委員会（年１回）　平成２８年３月頃
④監査（年１回）　平成２８年３月頃
⑤その他
ⅰ．ＦＤ／ＳＤ分科会
・ＦＤ分科会（年１回）　総会と同日開催（平成２８年３月頃）
・ＳＤ分科会（年１回）　総会と同日開催（平成２８年３月頃）
ⅱ．ＳＰＯＤ加盟校県内会議　四国各県において必要に応じて実施

※を付したプログラムについては，教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）主催事業として実施し，ＳＰＯＤ加盟校にも開放する

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ＳＰＯＤ）
将来構想ワーキンググループのまとめ

１　四国地区大学教職員能力開発ネットワーク将来構想の検討について

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（以下「ＳＰＯＤ」という。）は，文部科学省の「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」（以下「戦略ＧＰ」という。）に採択（代表校：愛媛大学。採択期間：平成２０～２２年度）され，四国内の国公私立大学・高専（１６機関）で構成する「『四国地区大学教職員能力開発ネットワーク』による大学の教育力向上」の取組を開始した。平成２３年度には，学生の豊かな学びと成長を支援，実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出することを目的として，四国地区すべての高等教育機関（３３機関）がＳＰＯＤに加盟し，四国全域における地域ネットワークを形成して共同事業を実施することとなった。なお。ＳＰＯＤは，文部科学省の戦略ＧＰとして始動し，少なくとも１０年間は事業の継続が求められていた。

ＳＰＯＤが設立してから７年目を迎え，ＳＰＯＤ加盟校による協働事業は，全国の高等教育機関等からも高く評価されているが，ＳＰＯＤ設立当初から拡大・深化している事業の統合と分化等について，ＳＰＯＤ設立１０年目が近づいてきており，再検討する時期となった。このような状況を踏まえ，平成２６年３月にＳＰＯＤ将来構想ワーキンググループ（以下「将来構想ＷＧ」という。）を設置した。将来構想ＷＧでは，数回にわたり意見交換を行い，その内容を取りまとめた。今後のＳＰＯＤ事業の改善・発展に活用していただきたい。

２　事業運営について

ＳＰＯＤは，四国内の高等教育機関が共同し，ＦＤ／ＳＤの取組を推進するため，年々事業が拡大・深化している。

将来構想ＷＧでは，ＳＰＯＤの目的について再検討し，ＳＰＯＤは，「各大学のＦＤ／ＳＤ活動を支援し，最終的には各校が自立してＦＤ／ＳＤ活動を行うことができるようにすることであり，ＳＰＯＤが提供する研修プログラムや加盟校のサポートについて，設立当初の事業目的や内容を見直す。自大学内で解決できない問題をＳＰＯＤがそれぞれの強みを活かしてサポートする。各加盟校内でのＦＤ／ＳＤが体系化されていないため，研修プログラムを行っても効果が見えにくい。研修プログラムを提供するのではなく，情報を提供し，各加盟校内においてＦＤ／ＳＤ取組の課題発掘を促すべきではないか。ＦＤ／ＳＤを理解していない人に対する理解増進のための教育支援を行う。事務局は愛媛大学のみで運営しているが，他大学との人事交流を図って事務局を運営することも必要である。平成 28 年度以降コア校の「ＦＤセンター」は自大学向けの業務を増やしてゆくことになりそう」などの意見があった。

さらに，ＳＰＯＤ事業評価委員会委員からは，委員が事業評価を行うに当たり，事業内容を理解し，評価するためには十分な時間が必要である。単年度限りでの評価では，中長期的な計画に基づく取組内容等の効果に影響を及ぼすばかりではなく，単年度の評価に振り回されるなどの意見があった。

このことを踏まえて，次のような対応・検討が必要である。

＜具体例＞

① ＳＰＯＤは，今後，人材の発掘及び優良事例の収集等を積極的に行うことにより，加盟校内で共有できる資源の蓄積に注力する。それらの資源を加盟校が有効活用し，加盟校が自律的にＦＤ・ＳＤ活動が行えるような支援方策について検討する。

② 研修プログラムへの参加者が少ない加盟校に対するニーズ調査を行い，加盟校が利用しやすい研修プログラムの開発や実施方法について検討する。

③ ＳＤについては，元々，人事院，国立大学協会，四国国立大学等の主催により，共同で研修を実施してきた土壌があり，ＳＰＯＤ－ＳＤが展開されてくる中，ＳＰＯＤ－Ｓ

Ｄを基礎とし，大学独自の研修を構築してきている動きがあり，今後もＳＰＯＤ－ＳＤに期待する声が大きい。この実情を踏まえ，１０年目に向けマップ及びプログラム構成等についての見直しを図る。ＦＤについては，コア校の４国立大学において中期目標第３期での「ＦＤセンター」の事業見直しを踏まえ，事業を精選する必要がある。

④　事業評価委員会は，毎年開催するのではなく，複数年に１回に見直すことについて検討する。

⑤　事務局の運営体制について，他大学職員との人事交流を図ることを検討する。また，ＳＰＯＤの事務局体制を確立するため，事業経費に人件費を計上し，専属的な人員配置についても検討する。

など

３　講師派遣プログラムについて

講師派遣プログラムは，平成２３年度から，加盟校単位（短期大学が併設されている４年制大学についてはあわせて１回）で希望するＦＤ／ＳＤプログラムについて，ＳＰＯＤから講師を年１回派遣している。

この事業によって，ＦＤセンターやＦＤｅｒなど専任教員の配置が難しい加盟校においても，質の高い研修プログラムの受講が可能となるとともに，コア校のＦＤ／ＳＤ担当者が加盟校を訪問することで，ＳＰＯＤに対する意見・要望を直接聴くことができるため，ＦＤ／ＳＤに関する情報共有も行われるようになった。さらに，他大学の講師と受講者が交流することで学内の教職員が刺激を受け，ＦＤ／ＳＤ活動に繋がったとの意見もいくつか見られ，学内の教育改革の一助となっていることが活動報告書からも確認ができている。

将来構想ＷＧでは，「毎年，希望プログラムを選択しているだけで組織として体系的なＦＤ／ＳＤ活動になっておらず，講師派遣が有効に機能していない。講師派遣プログラムのニーズ調査が必要である。講師のインセンティブを担保して欲しい。事務職員が講師を務める場合，共同事業契約書の趣旨を鑑みて，“講師”を務めることについて職場での理解が必要である。加盟校のＦＤ／ＳＤ活動の取組を支援することに注力してきたが，今後は，加盟校独自のＦＤ／ＳＤ活動を実施できるよう自立を促す取組に転換する必要がある」などの意見があった。

このことを踏まえて，次のような対応・検討が必要である。

＜具体例＞

①　毎年実施する加盟校への講師派遣プログラムの希望調査に加え，各加盟校のＦＤ／ＳＤ活動における派遣プログラムの位置付け，今後の計画等について調査し，講師派遣プログラムの在り方，支援方策について検討する。

②　講師派遣プログラムは，１回目は無料で利用できるが，２回目以降の講師依頼については，ＳＰＯＤ講師派遣の対象とせず，依頼する機関が講師の所属機関との間で兼業等の手続きを行うことについて検討する。

③　ＳＰＯＤホームページに「講師派遣紹介コーナー」を設ける。

④　教員へのインセンティブ付与について，ＳＰＯＤ研修プログラムの開発費として個人の研究費として配分することを検討する。このようなインセンティブ付与は、加盟校内のあらたな講師の開拓につながると期待される。

⑤　事務職員が講師となる場合，講師依頼文書に「共同事業契約書第２条及び３条により，各プログラムの実施は各校の業務であるため，本務としての処理についてご配慮ください」，各年度の役割分担に「講師派遣」を記載する，講師派遣に係るアンケート結果を部会等に報告することについて検討する。

⑥　講師派遣プログラムについては，研修講師の派遣ではなく，各加盟校が抱える課題解決のノウハウを提供するコンサルティングに転換することについて検討する。なお，急な事業内容の変更は加盟校に大きな負担を強いることになる恐れがあるため，計画的に進める必要がある。

など

４　ＳＰＯＤフォーラムについて

ＳＰＯＤフォーラムは，大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なＦＤ／ＳＤプログラムを集中的に提供し，国公私立大学・高専の設置形態にとらわれない組織を超えた相互交流を図ることを目的として平成２１年度から毎年実施しており，全国各地から多数の参加者がある。参加者アンケートの結果では，ほとんどの参加者が「満足」と回答している。

フォーラムは，平成２１年度から２３年度までは愛媛大学，２４年度は徳島大学，２５年度は愛媛大学，２６年度は高知大学で実施した。なお，新たな試みとして，２４年度から，愛媛県外でフォーラムを開催し，開催県内加盟校の教職員が多数参加できるような環境を整備したところ，開催県内の参加者が増加した。２５年度には，会場大学と開催県内加盟校が連携して，フォーラムを共同運営するようになり，職員の意識変化や加盟校間の連携が深まった。

将来構想WGでは，フォーラムを四国各県で開催することの必要性は認識しているが，大きなイベントとの重複開催や大学の組織再編等の影響により，フォーラムの実施が困難となる場合があるなどの意見があった。

このことを踏まえて，次のような対応・検討が必要である。

＜具体例＞

① フォーラムを計画的に四国各県で開催できるよう，未開催の香川県を含めたローテーションについて検討する。

② フォーラムの実施・運営は，引き続き開催大学と県内加盟校が連携し協働実施する。

など

５　加盟校のニーズ調査及び効果検証について

加盟校のニーズ調査については，ＳＰＯＤ県内加盟校会議や研修プログラム受講者からのアンケートによりニーズ把握を行い，コンサルテーションの実施や研修プログラムの開発・提供等を行ってきた。

調査・研究プロジェクトとして，ＦＤ専門部会では，連携効果検証ワーキンググループが新任教員研修に関するアンケートを実施し，新任教員に対する集中的な研修の機会は，教員の教育活動を進める上で有効であり，特に，研修後の授業改善等に活かされていたことが確認された。

ＳＤ専門部会では，組織変容検証プロジェクトチームにおいて，業務に対する取り組み姿勢に変化がみられるようになったこと，管理職員登用のための必須研修として位置づけた大学があることが確認された。

将来構想WGでは，ＳＰＯＤによる取組の効果として確認されたが，ＳＰＯＤ事業の見直し検討を行うためには，大学間のネットワーク形成による効果検証を行い，各大学等に対する今後の支援の在り方について検討する必要があるなどの意見があった。

このことを踏まえて，次のような対応・検討が必要である。

＜具体例＞

① 加盟校に対する調査を行い，今後の事業見直しについて検討する。

② 設立当初と現在におけるＦＤ／ＳＤ担当部署の組織整備の状況や取組内容等の変容過程，ＳＰＯＤによる連携効果の効果検証を行う。

など

６　ＳＰＯＤ事業経費について

ＳＰＯＤの事業経費は，文部科学省の補助金終了後，平成２３年度から加盟校が事業経費を負担する自主運営方式に切り替え，各法人からの負担金（常勤職員数，法人単位毎の基本額など一定の方法に基づき算出），及び研修料収入（加盟校外の参加者から研修料を徴収している。）により事業運営を行ってきた。

将来構想WGでは，事業経費の収入については，フォーラムの参加者数がここ数年，当初予算案の見込み数を大幅に超過し大幅な収入増となっている。支出については，フォーラムのプロ

グラムが年々充実したことにより支出経費は予算案を超過し，実態と合ってない。フォーラムの開催経費の確保などの意見があった。

事業評価委員会委員からは，事務局や加盟校の省力化や負担軽減，負担分散が必要であること。監事からは，予算決算が同一会計年度に実施されていること，予備費率が高いこと，予算繰越ができないことなどの指摘があった。

このことを踏まえて，次のような対応・検討が必要である。

＜具体例＞

① 研修料収入については，これまでの実績を踏まえて積算人数を見直す。
② フォーラム開催経費の積算の見直し，同経費を確保する。
③ 事業経費の節減，事業の合理化を図る。更に各法人の負担金の見直しについて検討する。
④ 支出総額に占める予備費の割合が高いため，予備費を見直す。
⑤ 予算の繰越，決算時期の見直しについて検討する。

など

7 教育関係共同利用拠点事業との関係性の整理について

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室は，文部科学大臣から教育関係共同利用拠点事業（(以下「拠点」という。）に認定（認定期間：平成２２～２６年度）され，ＳＰＯＤと連携しながら様々な事業を行い，平成２６年７月に再認定（平成２７～３１年度）された。

再認定の特記事項として，「拠点事業はあくまで大学の取組であり，ネットワーク組織の取組ではないため，ＳＰＯＤとの関係を整理するように努めること。」と記された。

これまで，ＳＰＯＤから拠点に研修プログラムを提供し，拠点からＳＰＯＤに研修プログラムを提供しながら事業を実施してきた。これにより，ＳＰＯＤと拠点事業の実施主体の区別等がされにくいこと，更に，ＳＰＯＤが提供する研修プログラム数が多いことから，拠点事業の一部がＳＰＯＤ事業であるとの印象を与えたものと推察される。

将来構想WGでは，事業の実施主体の区別を明確にするとともに，ＳＰＯＤ事業の整理を行うだけではなく，新たな研修プログラムの開発や提供等を行うための調査や効果検証を行うなど，ＳＰＯＤ事業の整理・統合について検討した。

このことを踏まえて，次のような対応・検討が必要である。

＜具体例＞

① ＳＰＯＤと拠点の各事業の相互提供・利用の手続きを廃止する。
② 既存研修プログラムの統合・分化および拠点との差別化を明確に意識する。
③ ＳＰＯＤフォーラムへの拠点の共催は段階的に解消する。
④ 事業評価委員のメンバーを一新し、拠点の外部委員との違いを明確にする。

など

8 総括

当ワーキンググループでは、これまでの議論を総括し、以下のように報告する。

① 平成 28 年度以降に想定される各コア校の「ＦＤセンター」の業務見直しを踏まえ、ＳＰＯＤにおけるＦＤ事業は内容を精選する必要がある。
② ＳＰＯＤにおけるＳＤ事業は大学間連携のスケールメリットが活かされているため、当面現状の活動を継続するべきである。ただし、新規プログラム開発は徐々に愛媛大学の教職員能力開発拠点に移行して行うことができる。
③ 講師派遣プログラムは、加盟校が自律的にＦＤ・ＳＤ活動を行うための支援（コンサルティング）の面を重視し強化すべきである。
④ ＳＰＯＤフォーラムは、四国外に開かれたＳＰＯＤの活動のためにも必要であると認識するとともに、開催県での参加者増加のために４県持ち回りで行うことをコア校間で確認する必要がある。
⑤ 事業評価委員会やネットワークコア運営協議会等の会議の効率化により、事務局の負担を軽減するべきである。

なお、以下の項目は平成 26 年度内に開始（①）、ないし平成 27 年度の活動計画に盛り込み済（②）である。

① 講師派遣プログラムの希望調査において、加盟校が中長期的なＦＤ・ＳＤ活動の計画を立てられるよう、希望調査書の内容を見直して必要な修正を行う。
② 加盟校のニーズ把握のため、各県の加盟校を訪問することによるヒアリング調査を実施する（予算計上を伴う）。

９　その他

（１）将来構想ＷＧ構成員

徳島大学		
	総合教育センター教育改革推進部門　准教授	宮田　政徳
香川大学		
	大学教育開発センター准教授	葛城　浩一
愛媛大学		
	教育・学生支援機構教育企画室長（ＳＰＯＤ企画・実施統括者）	小林　直人　◎
	教育・学生支援機構教育企画室副室長	山田　剛史
	広報室（兼）教育・学生支援機構教育企画室講師	阿部　光伸
	教育学生支援部長	吉田　一惠
	教育学生支援部教育企画課長	神　　智彦
高知大学		
	総合教育センター大学教育創造部門准教授	立川　　明

※　将来構想ＷＧの座長は，◎印の者。

（２）将来構想ＷＧの開催記録

平成 25 年度第１回
日時：平成 26 年 3 月 20 日（木）１６：４５～１７：３０
場所：愛媛大学愛大ミューズ３階ミーティングルーム
議題：ＳＰＯＤ将来構想ワーキンググループにおける議論の進め方について

平成 26 年度第１回
日時：平成 26 年 6 月 24 日（火）１３：３０～１５：３０
場所：愛媛大学愛大ミューズ３階会議室
議題：ＳＰＯＤの今後の運営について

平成 26 年度第２回
日時：平成 26 年 10 月 29 日（水）９：３０～１７：００
場所：愛媛大学愛大ミューズ３階会議室
議題：ＳＰＯＤ将来構想について，ＳＰＯＤ取組（講師派遣，フォーラム等）の見直しについて

平成 26 年度第３回
日時：平成 27 年１月
場所：メール審議
議題：ＳＰＯＤ将来構想ワーキングまとめ（案）について

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
事業評価委員会委員名簿

（任期：平成２７年４月１日～平成２９年３月３１日）

田中　　岳　　九州大学基幹教育院教育企画開発部　准教授

福島　一政　　追手門学院大学　副学長

徳永　寿老　　大学コンソーシアム京都　事務局長

（計３名　五十音順　敬称略）

※下線部分は新規委員

【参考】
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（ＳＰＯＤ）事業評価委員会要項（抄）
（組織及び運営）
第３条　評価委員会は、大学等におけるＦＤ／ＳＤ活動に造詣が深い者をもって組織する。ただし、委員はＳＰＯＤ加盟校以外の機関に所属する者とする。
２　前項の委員は、ネットワークコア運営協議会（以下、「運営協議会」という。）の議を経て、会長が委嘱する。